

報道関係各位

2026年6月30日  
株式会社サイカ

**サイカ、執行役員 CMO（Chief Marketing Officer）に就任した高木将臣のもと、6月よりリブランディングを本格始動**  
**「AI Decision Engine」の市場浸透を通じて、企業の意思決定を再設計し、持続的成長を牽引**

データサイエンスファームの株式会社サイカ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：平尾喜昭、以下サイカ）は、2026年3月に執行役員 CMO（Chief Marketing Officer）に就任した高木将臣のもと、本年6月よりリブランディングを本格始動したことをお知らせします。高木は、執行役員 CMO としてブランディングおよびコミュニケーションを統括し、AI時代の意思決定エンジン「AI Decision Engine」の市場への浸透を通じた、持続的な事業成長の実現に取り組んでまいります。

# AI Decision Engine XICA

※ プレスリリースは当社 Web サイトでも公開しています。

<https://xica.net/action/cmo-kicks-off/>

## 就任の背景

サイカは、ビジネスメカニズムを解明するデータサイエンスと独自の AI 基盤を融合した「AI Decision Engine」を提供しています。AI 活用を局所的な業務効率化に留

めず、経営の意思決定そのものを変革する力へと引き上げることで、再現性高く“勝ち続ける”経営の実現を支援します。

執行役員 CMO の高木は、サイカの主要事業におけるカスタマーサクセス部門、営業部門、マーケティング部門のマネージャーを歴任した後、事業部長としてエンタープライズ企業のマーケティングを科学し、当社の事業拡大を強力に牽引してまいりました。

このように、高木がマーケットとして積み重ねてきた知見と、クライアント企業のマーケティングを科学してきた経験、ならびにサイカの事業成長を牽引してきた実績が評価され、2026年3月に執行役員 CMO に就任いたしました。新体制移行への準備期間を経て、本年6月より「AI Decision Engine」の市場浸透を加速させるリブランディングを本格始動いたします。今後高木は、これらの知見を活かしたブランディングおよびコミュニケーションの推進を通じて、サイカの持続的成長の実現に取り組んでまいります。

## 高木将臣の略歴およびコメント



執行役員 CMO 高木将臣

### 〈略歴〉

株式会社キーエンスに入社し、大手輸送メーカーのFA機器営業に従事。その後、グリー株式会社にて広告営業を経て、マーケティング部のシニアマネージャーとしてリサーチ・プランニングから実行・分析まで一貫してマーケティング実務を担う。2018年7月よりサイカに参画。主要事業のマネジメントおよび事業部長を歴任

し、一貫して企業のマーケティング成果の最大化と当社の事業拡大を牽引。2022年4月より執行役員に就任し、2026年3月より現職。

〈コメント〉

2026年3月のCMO就任以降、私はサイカの次なる成長、そして市場における圧倒的な権威の確立に向けた戦略の構築を進めてまいりました。本年6月、その第一歩として、当社のリブランディングを本格始動いたします。

サイカに入社以来、私は多くのクライアント企業のマーケティング成果に向き合ってきました。その中で痛感したのは、激変する市場環境において、データサイエンスやAIを活用した『再現性の高い意思決定』がいかに企業の命運を握るかということでした。

私は、ブランディングとは企業の等身大をただ映し出す鏡ではないと考えています。それは、私たちがプロフェッショナルとして社会に示すべき「未来のあるべき基準」を指し示す羅針盤です。当社が提供する『AI Decision Engine』は、単なる業務効率化のツールではなく、経営層やリーダーの皆様が持つ『非連続な発想』や『強固な意志』を、数値に基づく科学的根拠によって確信へと昇華させるための知能基盤です。このリブランディングを通じて、意思決定のプロセスを資産へと変える新しい常識を市場へ深く浸透させ、ビジネスの未来に新たな規律をもたらす所存です。

## 代表取締役社長 CEO 平尾喜昭のコメント

ビジネスにおいてAIを活用することが当たり前の時代となり、社会からの期待は加速度的に高まっています。しかし、私たちがこれまで数多くのエンタープライズ企業をご支援してきた中で確信しているのは、どれほど優れたAIを用いたとしても、人の「非連続な発想」がなければ過去の成功体験から抜け出すことはできず、人の「強固な意志」がなければ組織は決して動かないということです。

AIがコモディティ化した現代において、ただAIに頼るだけの闘い方では生き残ることはできません。人の発想と意志を起点としてAIを活用していくことこそが、これからの時代における企業の競争力に直結すると考えています。だからこそ当社の「AI Decision Engine」は、人や組織のより良い意思決定の実現を価値の中心に据え、AIの力でその精度と速度を極限まで高めることを目指しています。

CMOとしてこのリブランディングを牽引する高木には、この「これからの時代におけるAI活用のスタンダード」を世の中に広く浸透させていく役割を期待しています。彼自身がマーケターとしてのバックグラウンドを持ち、サイカに入社してからの約8年間、クライアント企業のマーケティングを科学することに誰よりも深く向き合い続けてきました。その実績と知見を持つ高木だからこそ、「AIに人が従う世界」ではなく、「人がAIを活用して勝利をつかむ世界」を実現するマーケティングを強力に牽引できると確信しています。

## 会社情報



株式会社サイカは、「才能開花に満ちた公正な世界をつくる」をパーパスに掲げるデータサイエンスファームです。国内外を代表するデータサイエンティストや研究者、戦略コンサルタントによる「人財の知能」を最大の強みとし、科学的なアプローチを通じて企業の持続的な成長を支援するプロフェッショナル集団です。

社名 : 株式会社サイカ (XICA CO., LTD.)  
代表者 : 代表取締役社長 CEO 平尾 喜昭  
所在地 : 東京都港区六本木 3 丁目 1-1 六本木ティーキューブ 14F  
設立 : 2012 年  
URL : <https://xica.net/>  
Facebook : <https://www.facebook.com/xica.japan/>  
LinkedIn : <https://jp.linkedin.com/company/xica-co>  
X : [https://x.com/xica\\_official](https://x.com/xica_official)

## サービス情報 (AI Decision Engine 「XICA」)

AI Decision Engine



企業の意思決定を組織知に変え、勝ち続ける経営のための「AI 意思決定エンジン」を実装します。高精度なデータサイエンスを駆使して、複雑なビジネスメカニズムを解き明かし、「データの意味化」から「組織知の資産化」までを一気通貫で支援。独自 AI 基盤「XICA\*AI Platform」を掛け合わせた高い応用力で、資産性と再現性をもった「勝ち続ける組織」への構造化を実現する経営インフラを提供します。

ブランド名 : XICA (サイカ)  
URL : <https://xica.net/>  
提供サービス概要 : 意思決定支援システム、次世代経営 OS、データサイエンスに基づく戦略コンサルティングの提供  
主要実績 : 国内を代表する消費財・食品・リテール・通信・金融など、大手ナショナルクライアントにおけるデータサイエンスに基づく意思決定支援の実績多数

※サイカおよび XICA の名称・ロゴは、日本国およびその他の国における株式会社サイカの登録商標または商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名についても、各社の商標または登録商標です。